



主題名 かけがえのない命

教材名 地雷ではなく花を（参考資料提供：大恵 信昭）

人権学習の視点 普遍的な視点「生命や人間の尊厳」

主題・教材について 私たちが住む地球上では、今も戦争によって、いつ自分の命がなくなるかもしれないと思いつながりながら生活している子ども達がいる。「もし、学校に登校する途中で、地雷が破裂し、自分の足が切断されたらどうだろう。」この教材を通して、かけがえのない命について考えさせたい。

ねらい

かけがえのない命が、今なお脅かされている子ども達がいることを知り、命が大切にされていない現実には憤りを覚えるとともに、命を大切にしたいと思える心情を養う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○世界の中で、戦争で命を落としている子ども達がいることを知らせる。	一斉	○ニュースなどで、知っていることを思い起こし、発表する。	○最近のニュースの新聞記事などを見せて、紹介する。	
展開	みんなは、次のDVDを見てどう思うかな				
	○DVD「地雷ではなく花を」を見て、考えさせる。 (シナリオP14～P15参照)	一斉	○場面ごとの質問について考える。 写真① 車椅子の女の子 (地雷で片足をなくす) 写真② 地雷 写真③ ポスター 写真④ 地雷の撤去作業 <6つの数字> ①20分に一人 ②1億1千万個 ③1000年 ④3平方メートル ⑤300円 ⑥1	○必要に応じて、説明を加える。 (指導資料P16～P17) (1) 地雷の種類 (2) 大砲や機関銃と違うところ (3) 今、必要なこと (4) 対人地雷廃絶条約	資料 「地雷ではなく花を」 DVD シナリオ P14～P15 指導資料 P16～P17
まとめ	○地雷の学習を通して、命の大切さを感じ取らせるようにする。	個別 一斉	○地雷について知る中で、感じたことや思ったことをワークシートに書き、発表する。	○命が大切にされていないことに気付かせる。 ○自分の命にも立ち返り、その大切さを考えられるようにする。	ワークシート



評価

かけがえのない命が、今なお脅かされている子ども達がいることを知り、命が大切にされていない現実には憤りを覚えるとともに、命を大切にしたいと思える心情を養うことができたか。